

【広島市消費者物価指数】

1 平成23年12月の動向

- 広島市総合指数（99.6）は前月比で2か月連続の下落。前年同月比も2か月連続で下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.7）は前月比で同水準。前年同月比は2か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.9）は前月比で4か月連続の下落。前年同月比も4か月連続の下落。

2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.6	▲0.1	▲0.5
生鮮食品を除く総合指数	99.7	0.0	▲0.4
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.9	▲0.1	▲1.3

3 前月からの動き

～教養娯楽，交通・通信は上昇，家具・家事用品は下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.6	99.4	99.5	104.8	93.7	103.7	98.9	100.8	98.2	94.0	103.9
前月比 (%)	▲0.1	▲0.2	0.0	0.1	▲2.6	▲1.0	▲0.1	0.3	0.0	0.4	0.3
寄与度	▲0.1	▲0.06	0.01	0.01	▲0.10	▲0.05	0.00	0.04	0.00	0.05	0.02

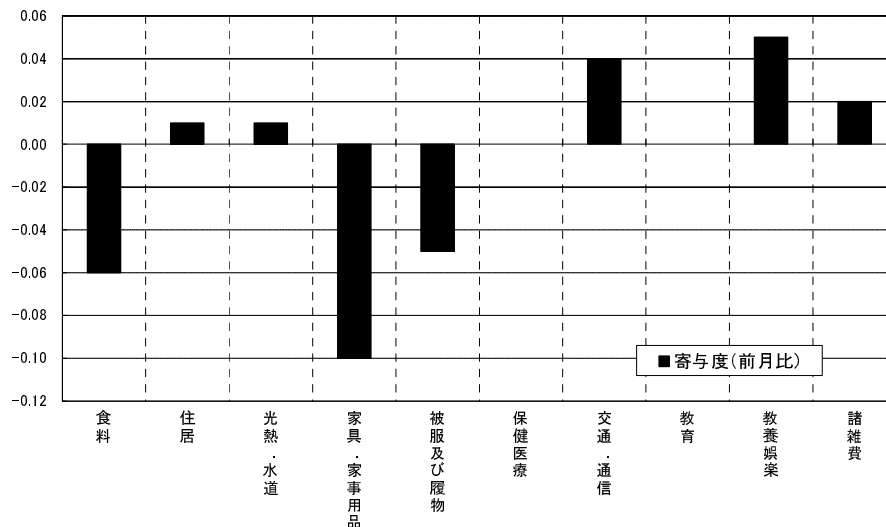
(参考) 主な要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目

家具・家事用品：家庭用耐久財（前月比▲5.1%，寄与度▲0.07）等

食 料：野菜・海藻（前月比▲1.1%，寄与度▲0.03）等

教 養 娯 楽：教養娯楽サービス（前月比 1.2%，寄与度 0.07）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に，各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来，寄与度の合計は，総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが，四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
教養娯楽サービス（外国パック旅行 等）	1.2%	家庭用耐久財（ルームエアコン 等）	▲5.1%
肉類（牛肉[国産] 等）	0.7%	教養娯楽用耐久財（テレビ 等）	▲3.0%
身の回り用品（ハンドバッグ 等）	2.5%	野菜・海藻（だいこん 等）	▲1.1%
交通（鉄道運賃[JR] 等）	0.8%	果物（かき[果物] 等）	▲2.1%
教養娯楽用品（ゴルフクラブ 等）	1.0%	洋服（婦人スラックス[冬物] 等）	▲1.2%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道が上昇し、教養娯楽が下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 0.5	▲ 0.3	▲ 0.2	4.4	▲ 5.7	▲ 1.1	▲ 0.8	1.2	▲ 0.2	▲ 4.8	0.1
寄与度	▲ 0.5	▲ 0.08	▲ 0.05	0.33	▲ 0.23	▲ 0.05	▲ 0.04	0.16	▲ 0.01	▲ 0.55	0.00

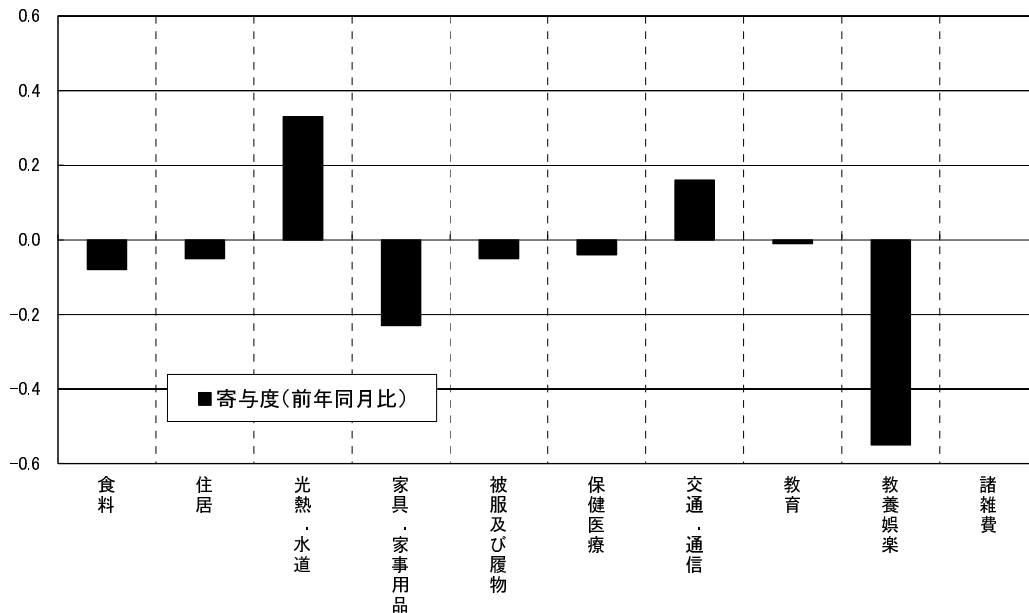
(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

教 養 娯 楽：教養娯楽用耐久財（前年同月比 ▲24.5%，寄与度 ▲0.50）等

光 熱 ・ 水 道：電 気 代（前年同月比 5.9%，寄与度 0.21）等

家 具 ・ 家 事 用 品：家 庭 用 耐 久 財（前年同月比 ▲15.9%，寄与度 ▲0.26）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
電気代（電気代 等）	5.9%	教養娯楽用耐久財（テレビ 等）	▲24.5%
自動車等関係費（ガソリン 等）	2.2%	家庭用耐久財（電気冷蔵庫 等）	▲15.9%
ガス代（都市ガス代 等）	4.5%	果物（みかん 等）	▲13.6%
寝具類（布団 等）	15.5%	教養娯楽用品（トレーニングパンツ 等）	▲4.4%
魚介類（かき[貝] 等）	1.8%	菓子類（ケーキ 等）	▲3.2%